

# 広島城天守の復元等に関する 検討内容について

令和5年度第1回  
広島城天守の復元等に関する検討会議

令和5年11月30日

# 目 次

## 1 主な検討内容

- (1) 基本的条件の整理 . . . . . 1
- (2) 必要な調査内容の検討 . . . . . 1
- (3) 現地予備調査の実施 . . . . . 2
- (4) 文化財の保存に係る検討等 . . . . . 2
- (5) 現天守の解体に関する検討 . . . . . 3
- (6) 天守群の復元等に関する検討 . . . . . 3

## 2 検討の進め方のイメージ . . . . . 7

## 3 令和5年12月実施予定の現地予備調査について

- (1) 調査項目と内容 . . . . . 8
- (2) 調査手法 . . . . . 10

# 1 主な検討内容

## (1)基本的条件の整理

- ・ 現天守の解体及び天守群の復元等に伴う影響が想定される範囲（天守台及びその周辺等）における石垣、遺構等の文化財の現状の整理
- ・ 現天守の解体及び天守群の復元等により想定される文化財への影響（液状化など地震により想定される遺構への影響を含む。）の整理

## (2)必要な調査内容の検討

- ・ 現天守の解体及び天守群の復元等に当たって必要となる調査（内容、方法、範囲（実施箇所）、所要期間、費用等）についての検討

# 1 主な検討内容

## (3)現地予備調査の実施

- ・石垣現況補足目視調査、3次元補完測量、石垣断面構造の補足調査等（「3 令和5年12月実施予定の現地予備調査について」を参照。）

## (4)文化財の保存に係る検討等

- ・現天守の解体及び天守群の復元等に伴う文化財の保存に関する課題整理及び方針検討（石垣及び基礎地盤の解析を含む。）

史跡等における歴史的建造物の復元等に関する基準  
(令和2年4月17日・文化審議会文化財分科会決定)

### I. 復元

#### 2. 基準

##### (1) 基本的事項

- イ. 当該史跡等の本質的価値を理解する上で不可欠の遺跡の保存に十分配慮したものであること。

※「II. 復元的整備」において準用。

# 1 主な検討内容

## (5)現天守の解体に関する検討

- ・ 現天守のこれまで果たしてきた役割や課題など現天守の評価
- ・ 現天守の設計図書等に基づく解体の範囲の検討
- ・ 解体に係る施工条件の整理
- ・ 解体に係る具体的な工法及び仮設計画の検討
- ・ 解体に係る工程及び概算費用の検討

## (6)天守群の復元等に関する検討

- ・ 木造復元以外の整備手法（耐震改修等）との比較衡量

史跡等における歴史的建造物の復元等に関する基準

I. 復元

2. 基準

(1) 基本的事項

ウ. 復元以外の整備手法との比較衡量の結果、国民の当該史跡等の理解・活用にとって適切かつ積極的意味をもつと考えられること。

※ 「II. 復元的整備」において準用。

# 1 主な検討内容

## (6)天守群の復元等に関する検討（続き）

- ・天守群の位置・規模・構造・形式等、材料・工法等の検討
- ・復元等の蓋然性の考証
- ・復元等の範囲及び復元時代の設定
- ・復元等に当たっての施工条件の整理
- ・復元等の具体的な構造、工法（基礎地盤対策を含む。）、仮設計画及び使用木材の樹種や調達方法等の検討

### 史跡等における歴史的建造物の復元等に関する基準

#### I. 復元

#### 2. 基準

#### (2) 技術的事項

- ア. （前略）資料により、復元する歴史的建造物が遺跡の位置・規模・構造・形式等について十分な根拠をもち、復元後の歴史的建造物が規模・構造・形式等において高い蓋然性をもつこと。（後略）
- イ. 原則として、復元に用いる材料・工法は同時代のものを踏襲し、かつ当該史跡等の所在する地方の特性等を反映していること。

# 1 主な検討内容

## (6)天守群の復元等に関する検討（続き）

- ・天守群の復元等と史跡の歴史的・自然的な風致・景観との整合性に関する検討
- ・建築基準法、消防法及びバリアフリー法などへの対応及び防災上の安全性の確保の検討

### 史跡等における歴史的建造物の復元等に関する基準

#### I. 復元

#### 2. 基準

#### (3) 配慮事項

ア. 歴史的建造物の構造及び設置後の管理の観点から、防災上の安全性を確保すること。

※防火対策については「国宝・重要文化財（建造物）等の防火対策ガイドライン」に基づいて対策を講じること

※「II. 復元的整備」において準用。

# 1 主な検討内容

## (6)天守群の復元等に関する検討（続き）

- ・復元等に要する工程及び概算費用の検討
- ・中長期的な改修工事費用、維持管理費用の検討
- ・現天守の解体及び天守群の復元等の過程に係る活用の方針・方法の検討
- ・復元等の後の活用・管理の方針・方法の検討

### 史跡等における歴史的建造物の復元等に関する基準

#### I. 復元

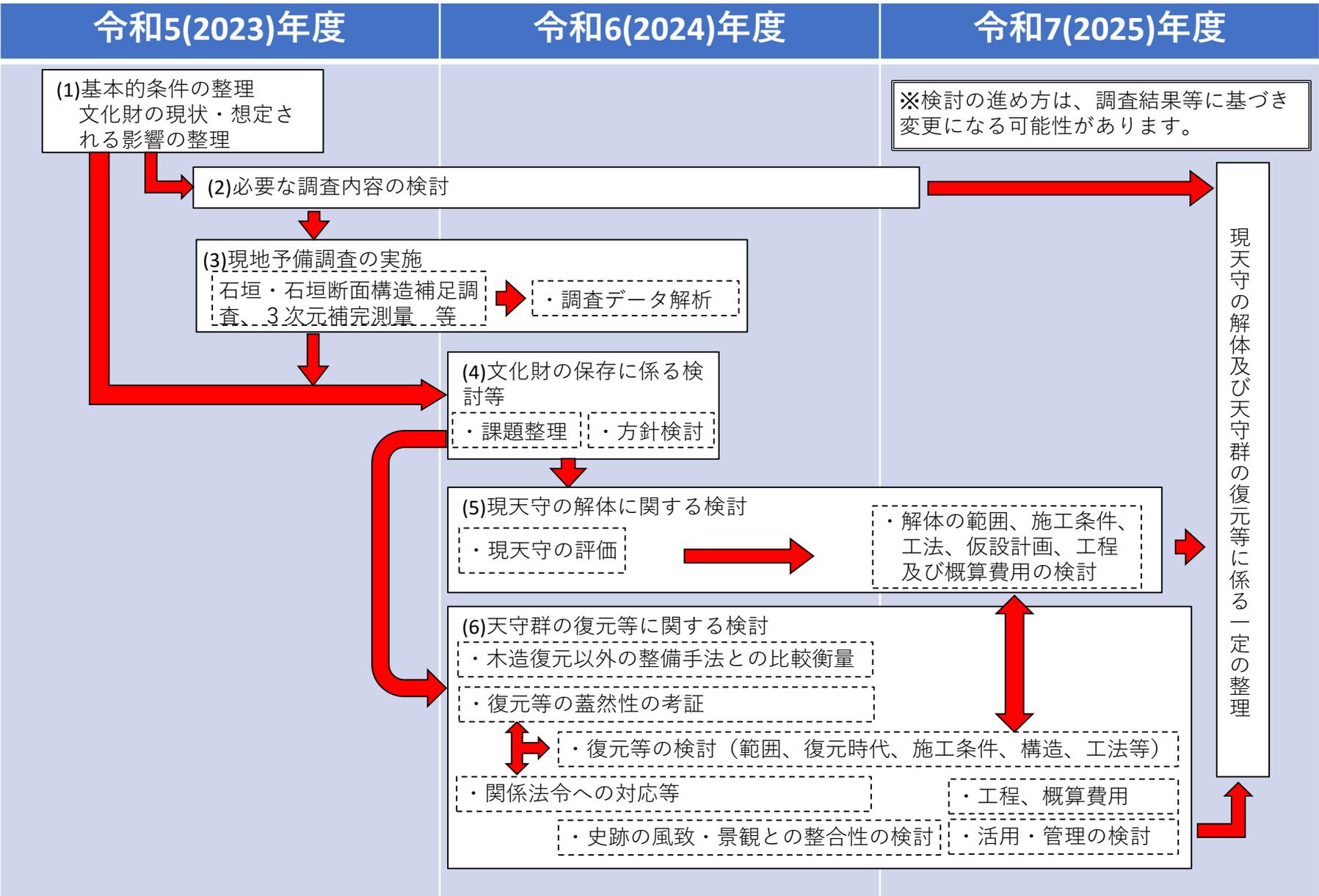
#### 2. 基準

##### (1) 基本的事項

エ. 保存活用計画又は整備基本計画において、当該史跡等の保存管理・整備活用に関する総合的な方向性が示され、歴史的建造物の復元について下記の観点から整理されていること。

③ 復元後の管理の方針・方法が示されていること。

# 2 検討の進め方のイメージ



# 3 令和5年12月実施予定の現地予備調査について

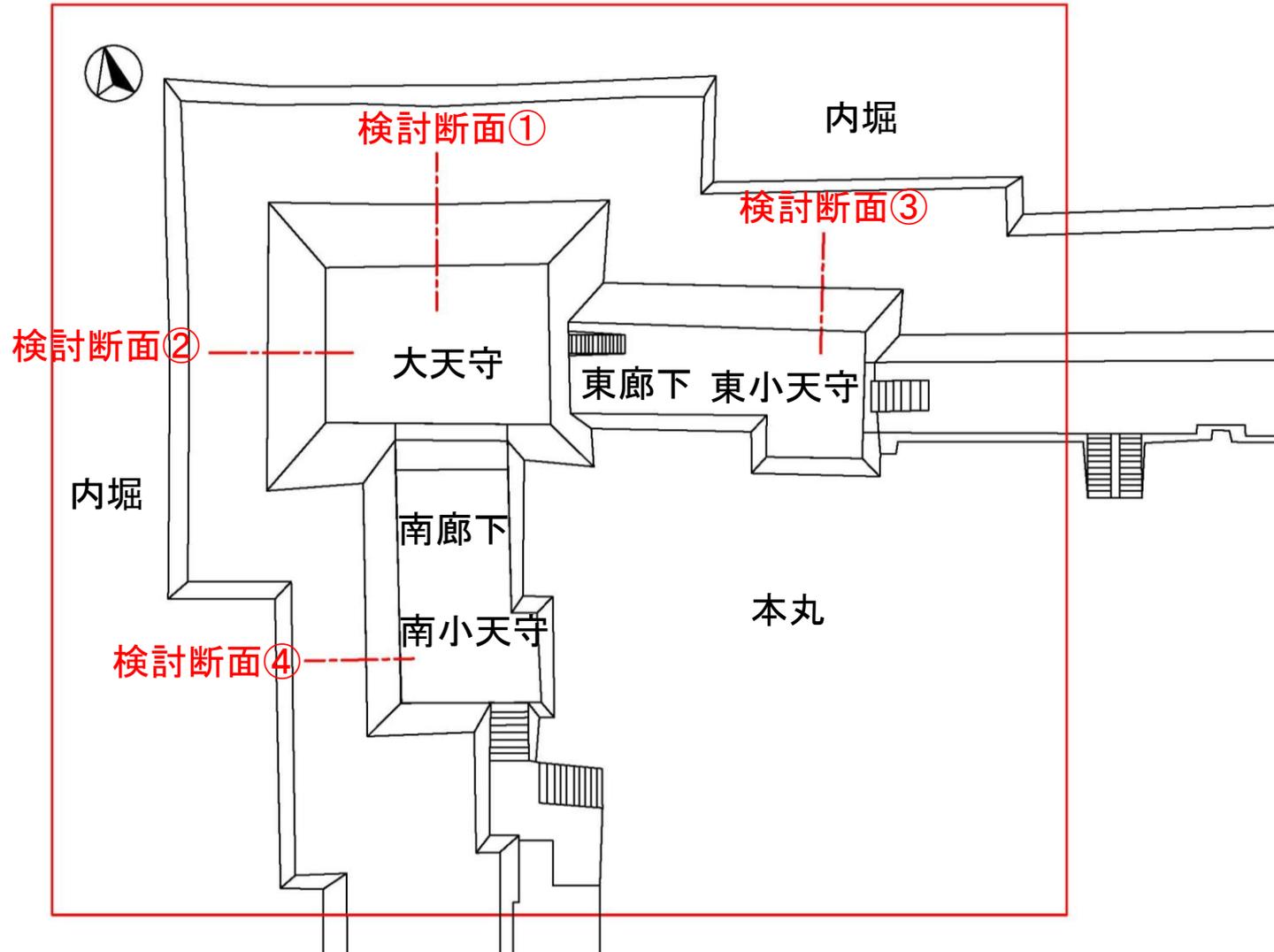
## (1) 調査項目と内容

調査項目 【調査目的】	調査内容	
	今回実施	令和3、4年度実施
石垣現況 補足目視調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大天守東、西、南面</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大天守北面</li> <li>・小天守、廊下各面</li> </ul>
3次元補完測量 【3次元モデル作成】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空中写真測量(ドローン)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3Dレーザ点群データ</li> <li>・石垣写真測量データ</li> </ul>
石垣断面構造 の補足調査 【石垣安定性解析】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大天守西面(検討断面②) 地中レーダ探査 衝撃弾性波探査 ファイバースコープ調査</li> <li>・東小天守北面、南小天守 西面(検討断面③、④) 衝撃弾性波探査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大天守北面(検討断面①) 地中レーダ探査 衝撃弾性波探査 ファイバースコープ調査</li> <li>・東小天守北面、南小天守 西面(検討断面③、④) 地中レーダ探査 ファイバースコープ調査</li> </ul>

# 3 令和5年12月実施予定の現地予備調査について

## (1) 調査項目と内容 (続き)

3次元補完測量(3次元モデル作成範囲)



平面図

# 3 令和5年12月実施予定の現地予備調査について

## (2) 調査手法

調査項目	調査手法	
石垣現況 補足目視調査	目視調査(工学的見知からの所見)	
3次元補完測量	ドローンを用いた空中写真測量 	 
石垣断面構造 の補足調査	地中レーダ探査 (築石控長,裏込め厚)    築石の衝撃弾性波探査 (築石詳細控長,割れ)    ファイバースコープ調査 (裏込め状況)   	
石垣検討断面の作成		